



**日時** 12月3日(出) 午前9時10分～

**※予備日**：12月10日(出)

**場所** マンデー末広公園グラウンド

**参加資格** 市内在住・在勤・在学者

**参加費** 200円

**申込・問合先** 11月16日(水)までに所定の申込用紙に必要事項を記入し、参加費を添えてスポーツ推進課へ

市民競技大会  
グラウンドゴルフ

# スポーツ

スポーツ推進課 (J:COM末広体育館 [市民総合体育館] 内)  
☎462-2000 Fax469-2286  
受付：午前9時～午後5時15分  
(休館日と土・日曜日以外の祝日除く)  
※電話はおかけまちがいのないようにご注意ください。

## J:COM末広体育館 (市民総合体育館)・健康増進センターをご利用ください!

**問合先** 健康増進センター  
(☎469-1000 Fax469-6666  
<http://www.izumisano-c.jp/kenko/>)

利用者	プール	トレーニング	ランニング
一般 (高校生以上)	1回 620円 (月極6,200円)	1回 410円 (月極4,100円)	1回 210円
高齢者 (60歳以上の市内在住者)	1回 310円 (月極3,100円)	1回 210円 (月極2,100円) ※小学生以下 利用不可	1回 110円
3歳～中学生			

障害者手帳を持っている人は無料です。  
※表示料金はすべて税込です。

## モンゴルと日本のこれまでの関係

問合先 自治振興課

今年はモンゴルと日本の外交関係樹立50周年です。この記念すべき年まで「両国はどのように交流してきたか」について簡単に述べたいと思います。

### 【両国の歴史】

13世紀後半のことです。チンギスハーンの孫である、モンゴル帝国の第5代皇帝のフビライハーンは1274年と1281年の二度にわたって日本に侵攻しましたが、台風の影響で散々

な結果に終わったと歴史に書かれています。1939年にモンゴルのドルノド県ハルハ河で起こった日本とモンゴル軍の衝突事件です。日本史には「ノモンハン事件」と残されていますが、モンゴル史には「ハルハ河戦争」と書かれています。

1972年にモンゴルと日本は外交関係を樹立し、様々な制約の中で交流の道を歩み始めました。1977年には、日本の無償援助でゴビ・カシミア工場が建設されました。

1990年、モンゴルは民主化に移り、経済的に厳しい時期を乗り越えようとしていた時に日本は一番に援助の手を差し伸べてくれました。当時、私の家にまで「日本国民からの援助」と書いた粉ミルクとガスコンロなどが届いたのをはっきり覚えています。逆に阪神・淡路大震災の時はモンゴル国民からの支援は多くの被災者の人々の励みになったと聞いています。

それ以降、モンゴル出身力士の大活躍などもあって、両国の関係が飛躍的に発展したお陰で、私が泉佐野市の国際交流員として活躍の場をいただいています。泉佐野市以外に、鳥取県、鳥取県日南町、静岡県、静岡県焼津市、島田市、伊豆の国市、北海道滝川市、宮崎県都城市、茨城県行方市などにもモンゴル人の国際交流員がいます。友好交流の覚書を締結している自治体なら本当に数多くあります。

両国は様々な歴史と共に歩んできましたが、2004年にモンゴル国民にアンケート調査をした結果では「最も親しくすべき国」第1位に日本が選ばれるほど親日になっているのが現状です。



◀国際交流員のオギー

### 今月のモンゴル語

найрсaг харилцаа ~nairsag hariltsaa

(ナイルサグ ハリルツァー)：友好交流

найз ~naiz(ナイズ)：友達

баярлалаа ~bayrlalaa(パヤルラー)：ありがとう